



平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月3日

上場会社名 マナック株式会社

上場取引所 東

コード番号 4364 URL <http://www.manac-inc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村田 耕也

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役社長室長兼管理部長 (氏名) 千種 琢也

TEL 084-954-3330

四半期報告書提出予定日 平成30年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	2,008	0.0	2		21		14	
30年3月期第1四半期	2,007	9.2	11		1		10	

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 49百万円 (%) 30年3月期第1四半期 49百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	1.74	
30年3月期第1四半期	1.32	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	12,794	9,136	71.4	1,137.41
30年3月期	12,640	9,266	73.3	1,153.52

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 9,136百万円 30年3月期 9,266百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		2.50		10.00	12.50
31年3月期					
31年3月期(予想)		2.50		5.00	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	5.0	350	69.9	400	56.9	280	94.4	34.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	8,625,000 株	30年3月期	8,625,000 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	591,933 株	30年3月期	591,883 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	8,033,103 株	30年3月期1Q	8,033,297 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、政府の経済政策や日銀による金融緩和を背景に、企業収益や雇用・所得環境の改善がみられ、個人消費も持ち直しの動きが続いており、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で海外については、中国をはじめとする新興国の景気減速懸念、米国及びEU諸国の政策動向、政治動向、地政学的リスクなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の下で当社グループは、国内における新規市場開拓及び既存顧客への更なる取引深耕、マナック（上海）貿易有限公司が主体となり、中国をはじめとした海外における新規市場開拓にグループが一体となり積極的に取り組んだ結果、売上高・利益ともに前年同四半期を上回りました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は2,008百万円（前年同四半期比+0百万円、0.04%増）、営業利益は2百万円（前年同四半期は営業損失11百万円）、経常利益は21百万円（前年同四半期比+19百万円、1,155.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は14百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失10百万円）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

① ファインケミカル事業

ファインケミカル事業につきましては、電子材料製品や工業薬品、医薬中間体などの販売は概ね前年同四半期と同様に推移いたしました。一方で当社及び連結子会社における利益改善により、セグメント利益は前年同四半期と比較し増加いたしました。

その結果、売上高は805百万円（前年同四半期比△20百万円、2.5%減）、セグメント利益は84百万円（同+36百万円、77.6%増）となりました。

② 難燃剤事業

難燃剤事業につきましては、電子材料部材や家電製品に使用されるプラスチック用難燃剤などの需要が概ね堅調に推移しました。また、需要環境の好転を背景とした採算是正の取り組みを継続しましたが、一方で原燃料等の費用が増加したことにより、セグメント利益は前年同四半期と比較し若干減少いたしました。

その結果、売上高は947百万円（前年同四半期比+7百万円、0.8%増）、セグメント利益は111百万円（同△8百万円、7.3%減）となりました。

③ ヘルスサポート事業

ヘルスサポート事業につきましては、人工透析薬剤の原料は安定した国内需要を維持しており、売上高は前年同四半期と比較し増加いたしました。しかしながら、相対的に利益率の低い製品の割合が増えたため、セグメント利益は前年同四半期と比較し若干減少いたしました。

その結果、売上高は254百万円（前年同四半期比+13百万円、5.7%増）、セグメント利益は25百万円（同△3百万円、13.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて153百万円増加し、12,794百万円となりました。これは主に、販売に備えた棚卸資産の増加によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて282百万円増加し、3,657百万円となりました。これは主に、原材料仕入等に伴う買掛金が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて129百万円減少し、9,136百万円となりました。前連結会計年度末に比べて利益剰余金の減少、及び株価変動によるその他有価証券評価差額金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年5月11日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,718,143	1,610,467
受取手形及び売掛金	3,188,137	3,075,464
金銭の信託	1,255,000	1,400,000
商品及び製品	1,148,319	1,225,595
仕掛品	396,238	542,381
原材料及び貯蔵品	425,793	472,698
その他	178,288	210,026
貸倒引当金	△2,757	△2,775
流動資産合計	8,307,163	8,533,860
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	760,307	750,935
機械装置及び運搬具(純額)	497,372	542,310
土地	743,918	743,918
建設仮勘定	89,061	67,726
その他(純額)	98,103	90,748
有形固定資産合計	2,188,764	2,195,640
無形固定資産	2,864	28,828
投資その他の資産		
投資有価証券	1,827,602	1,741,413
関係会社長期貸付金	101,600	98,600
繰延税金資産	5,633	3,463
その他	207,918	192,923
貸倒引当金	△600	△600
投資その他の資産合計	2,142,155	2,035,801
固定資産合計	4,333,784	4,260,269
資産合計	12,640,948	12,794,130

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,316,089	1,547,718
短期借入金	921,928	907,556
未払法人税等	32,748	10,777
賞与引当金	120,159	66,844
その他	594,988	770,829
流動負債合計	2,985,913	3,303,725
固定負債		
長期借入金	270,146	255,285
繰延税金負債	61,507	41,714
役員退職慰労引当金	54,729	54,729
その他	2,255	1,817
固定負債合計	388,638	353,546
負債合計	3,374,551	3,657,272
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,757,500	1,757,500
資本剰余金	1,947,850	1,947,850
利益剰余金	5,385,213	5,318,897
自己株式	△244,235	△244,264
株主資本合計	8,846,327	8,779,982
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	286,428	224,793
繰延ヘッジ損益	△2,454	5,117
為替換算調整勘定	136,094	126,964
その他の包括利益累計額合計	420,068	356,875
純資産合計	9,266,396	9,136,858
負債純資産合計	12,640,948	12,794,130

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	2,007,507	2,008,285
売上原価	1,636,629	1,608,966
売上総利益	370,878	399,319
販売費及び一般管理費	382,751	397,165
営業利益又は営業損失(△)	△11,872	2,153
営業外収益		
受取利息	890	749
受取配当金	12,300	14,378
為替差益	—	570
その他	5,385	6,391
営業外収益合計	18,576	22,088
営業外費用		
支払利息	2,245	2,685
為替差損	2,295	—
その他	485	493
営業外費用合計	5,026	3,178
経常利益	1,677	21,064
特別利益		
固定資産売却益	212	—
投資有価証券売却益	1,812	3,446
特別利益合計	2,025	3,446
特別損失		
固定資産除却損	6	1,025
特別損失合計	6	1,025
税金等調整前四半期純利益	3,696	23,484
法人税、住民税及び事業税	1,331	3,872
法人税等調整額	12,964	5,597
法人税等合計	14,295	9,469
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△10,599	14,015
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△10,599	14,015

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△10,599	14,015
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	59,664	△61,634
繰延ヘッジ損益	△1,873	7,571
為替換算調整勘定	2,791	△9,129
その他の包括利益合計	60,582	△63,193
四半期包括利益	49,983	△49,177
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	49,983	△49,177
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	ファインケミカル事業	難燃剤事業	ヘルスサポート事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	826,641	939,881	240,985	2,007,507
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	826,641	939,881	240,985	2,007,507
セグメント利益	47,472	119,783	29,478	196,734

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	196,734
全社費用(注)	△208,607
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△11,872

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用等であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	ファインケミカル事業	難燃剤事業	ヘルスサポート事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	805,741	947,747	254,796	2,008,285
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	805,741	947,747	254,796	2,008,285
セグメント利益	84,301	111,047	25,623	220,971

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	220,971
全社費用(注)	△218,817
四半期連結損益計算書の営業利益	2,153

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用等であります。